

部下の主体性を引き出す「コーチングの型」

開催日時 2026. 10.26 月 15:00～16:00

受付終了 2026.10.21(水) 開催形式 Zoomミーティング（双方向スタイル）※

対象者 管理職・中堅社員 定員 30名



※双方向スタイル；講師・受講者が双方向でコミュニケーションをとって学習する形式

「もっと主体的に動いてほしい」という願いとは裏腹に、つい「答え」や「指示」を押し付けて部下の思考を止めていないでしょうか。身近な「夏休みの宿題」と実務の「研修企画」という2つのケースを通じ、命令が生む悪循環と、自発性を引き出す「内発的気づき」のメカニズムを深く学びます。

講師 橋詰 尚子（はしづめ ひさこ）

民放ラジオ局の交通情報キャスターや地上波テレビ局の気象キャスターを経て、2001年より講師活動を開始。大手通信会社のスタッフ教育事業において、リーダーシップやセールススキルの研修立ち上げ、講師育成、テキスト制作に深く携わる。現在は、プレゼンテーションやロジカルシンキング、気象知見を活かしたリスク管理など幅広い分野で登壇。通信、製造、インフラ、公的機関など多様な業界で実践的な研修を展開している。



項目	内容	目標到達点
はじめに	●本テーマのねらいの確認	コーチングの目的を理解し、部下の主体性を伸ばす重要性を認識する。
ケーススタディ①	●自発性をつぶしてしまう声掛け ●外発的気づき」と「内発的気づき」 ●内発的気づきを促すコーチング ●外発的気づきと内発的気づきを使い分ける	一方的な命令の限界を知り、部下の実行度を高める 「内発的気づき」を引き出す使い分けを学ぶ。
ケーススタディ②	●考えを引き出すためには「話しやすい雰囲気」を作ることが重要 ●話しやすい「3つの場」（安心・安全・前向き）づくり	部下が萎縮せず率直に意見を言えるよう、肯定語や表情を意識した「3つの場」づくりを理解する。
実践的コーチング・プロセスの習得	●考えを引き出すコーチング・プロセス ●プロセス別の具体的な質問例 ●「答えを信じて待つ」姿勢 ●まとめ	5つの対話プロセスと質問例を修得し、安易に答えを与えず部下の可能性を信じて見守る姿勢を養う。

サイバックスUNIV. お問い合わせは、リスクモンスター株式会社 カスタマーセンターへ

●受付時間：平日10:00～16:00

フリーコール TEL 0120-035-205

携帯電話 TEL 03-5202-7121